

## 2009.12月完成 宇多津町の家



### 開放感抜群のウッドデッキで のんびりと過ごしたくなる家

駅や学校、商店に程近く、紅葉が美しい山々や田園風景を望む静かな場所に建つ「宇多津町の家」。

杉板の門扉を開けて中へ入るとまず目に入るのが、広いウッドデッキのある中庭。杉の立柱で構成された玄関ポーチは、ガラス屋根で出来ていて、とても開放的な空間です。

この家の設計を担当した建築家・三井武二さんによると、当初、建て主の希望は2階建てだったのだそう。

「敷地の広さを生かしたこの平屋プランも合わせて、全部で3つのプランを提案してみました」という三井さん。その結果、建て主のMさんご夫妻が揃って気に入ったというこの中庭を持つ平屋のプランをもとに、ほぼ毎週打ち合わせを重ねました。

玄関はシューズクロークが分離され、引き戸を閉めると姿見の鏡が現れます。屋外に趣味で釣った魚を置く場所が欲しいと

いうご主人のためには、業務用シンクと収納庫を設置。また、洗面コーナーから直接出入り可能な物干し場は風通しが良く、奥さんのご希望通り外部からは一切見られることはありません。

Mさんは「自分たちの要望と三井さんからの提案がピッタリとはまって、ほんとと迷うことなく進みました」と、家づくりを振り返ります。天気の良い日には窓を全開にして遠くの山を眺めながらウッドデッキで本でも読んでいたくなるような、そんな住まいになりました。



住宅データ  
構造 木造  
工法 在来工法  
敷地面積 330.72㎡(約100.04坪)  
延床面積 126.03㎡(約 38.12坪)  
設計期間 2009年1月～2009年4月  
工事期間 2009年6月～2009年11月  
設計監理 三井武一(M計画設計室)  
施工 富士建設株式会社

- 約10帖という広いウッドデッキのある中庭。
- LDKの南側2間幅のフルオープン可能な掃き出し窓から、ウッドデッキに段差なしで繋がる。
- 寝室側からも中庭に面した開口はフルオープン可能。寝室の他にも使い勝手のよい収納スペースが多く存在する。
- 霧雨気のある夜景。周囲に高い建物がないため、ウッドデッキで星空を楽しむのもいいかも。
- リビング奥の天井には、なんと150インチのスクリーンが。映画好きな建て主のために、三井さんが提案したもの。
- 外観は形だけでなく素材の違いによる印象も面白い。杉板部分の隙間で外とのゆるやかな繋がりを持たせている。
- 予定よりリビングなどを広くとったが、他は大きな変更もなくほとんど模型の通りになった。
- 自転車置場としても利用できるほどゆったりとしたスペースは、列柱と合わせガラスの屋根で雨の日でも安心。

photograph Takeichi Mii



三井さんのシフォンケーキ。



スズキのグリル・チーズソリゾット添え。

「初対面の方に『料理を作るのが趣味なんです』  
って言うと、たいていの人は驚いてくれます」  
建築家・三井武一さんの作る料理は、自分流にアレンジしたオリジナルものが多く多いのだそう。  
「ただレシピ通りに作るのが面倒くさいですけどね」オリジナルゆえに失敗もあるそうだが、三井さん曰く間違ってもコンニャクとチーズを合わせてはいけないのだとか。それがどんな料理だったのか大変気になるところですが、三井さんはカメラの腕前もかなりのもので、時間があれば作った料理や花、昆虫など自然の写真を撮ることも好きなのだといっています。  
「わたしの設計する住宅には生活の匂いするものが多いのですが、住宅とはそういうものだと考えています」  
料理好きな三井さんが設計する住宅ですから、それも納得できますね。

三井 武一  
mii takeichi

M計画設計室  
高松市国分寺町新居2350-10  
TEL 087-874-8301  
http://www5.ocn.ne.jp/~mkeikaku/



1965年生まれ、香川県出身。1985年 香川職業訓練短期大学卒業後、設計事務所勤務を経て2000年 M計画設計室設立。2004年香川県建築設計協同組合主催の住宅設計コンペ1位入選、2005年度香川県建築士会住宅部中讃支部表彰、2007年度香川県木造住宅・高齢化対応住宅コンクール佳作など。



昆虫や動植物の生き生きとした姿をとらえた写真が魅力的。



レンズの種類もこの通り本格的。